

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人東日本学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	歯科衛生科	夜・通信	1,095 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://eiseishi.hoku-iryu-u.ac.jp/support_info/">http://eiseishi.hoku-iryu-u.ac.jp/support_info/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

学校名	北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人東日本学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[http://eiseishi.hoku-iryu-u.ac.jp/support\\_info/](http://eiseishi.hoku-iryu-u.ac.jp/support_info/)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2020年3月23日～ 2022年3月22日	コンプライアンス
非常勤	会社経営者	2020年3月23日～ 2022年3月22日	経営に関する アドバイスや モニタリング
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人東日本学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画(シラバス)は毎年度作成しており、次年度の科目担当教員確定後、概ね12月～1月の期間内で「シラバス WEB 編集システム」を用いて担当教員自身が作成しており、事務局によるチェックおよび教員による校正を経て、3月下旬までに完成している。</li> <li>・授業計画はホームページへの掲載を行い、学生・教職員だけでなく、高校生や保護者・社会人などの第三者も閲覧できるよう整備している。</li> <li>・記載内容は「建学の理念」「教育理念」「教育目標」「年間行事予定表」「カリキュラムマップ」「カリキュラムツリー」のほか、各授業科目については、「授業形態」「配当学年・学期」「必修・選択区分」「単位数」(時間数を単位数で換算しているため)「担当者名」「概要」「学修目標」「学修内容」「評価方法」「備考」(教科書等)「学修の準備」「実務経験」「実務経験を活かした教育内容」の各項目で構成されている。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページ「シラバス」<a href="http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/for/student/syllabus/fy2021/eiseishi/">http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/for/student/syllabus/fy2021/eiseishi/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>「定期試験」「レポート」「小テスト」等、あらかじめ科目ごとに設定しシラバスに明示した成績評価の方法・基準に基づき、厳格かつ適正に単位を授与している。</p> <p>なお、成績の評価については、学則において下記の通り定め、『学生便覧』に掲載し、ホームページにて公表している。</p>	
<p>(成績)</p> <p>第26条 授業科目の成績の評価は、優・良・可・不可の4種とし、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、優・良・可を合格、不可を不合格とする。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本校では客観的な指標として、各科目のGPを評点ごとに下記①のとおり設定しており、GPAは原則として不可・失格・履修無効を含む履修登録したすべての科目を対象に下記②の計算式により算出している。なお、受講を取りやめた科目については、履修登録取消の手続き期間内に所定の手続きを行うことで、GPA算出の対象から除外することができることとしている。また、GPAの算出方法については『学生便覧』及びホームページにて公表している。なお、別添資料の通り、GPAに基づき、成績の分布状況の把握を行っている。

①評価（評点）区分とGP

評価等	評点	GP
優	100～90	4
	89～80	3
良	79～70	2
可	69～60	1
不可	60点未満	0
失格	—	0
履修無効	—	0

②GPAの計算式

$$GPA = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{左記授業科目のGP}) \text{の合計}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

ホームページ「GPA制度」

<https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/about/disclosure/gpa/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定に関する方針を下記のとおり定め、ホームページにて公表している。

- 本学歯学部附属歯科衛生士専門学校卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。
1. 歯科衛生士に必要な知識・技能および科学的な思考力を修得するとともに、これらを統合した実践力を身につけている。
  2. 高い使命感と倫理観および豊かな人間性を身につけている。
  3. チーム医療に貢献できるコミュニケーション能力及び実践力を身につけている。
  4. 口腔保健の専門家として生涯にわたって自己研鑽する向上心や探求心を身につけている。

また、学則において卒業要件を下記のとおり定めている。

第35条 本校に3年以上在学し、当該学年の所定授業日数の70%以上出席し、第21条に定める授業科目を修了し、かつ卒業試験に合格した者については、校長が卒業を認定する。

上記の方針及び卒業要件を踏まえ、出席状況・科目修得状況・卒業試験の結果をもとに年度末の教員会において卒業判定を実施し、適切に卒業を認定している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

ホームページ「情報の公表」→「卒業の認定に関する方針」

<http://eiseishi.hoku-iryo-u.ac.jp/info/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

学校名	北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人東日本学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/assets/pdf/about/disclosure/zaimu/20kessan.pdf">https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/assets/pdf/about/disclosure/zaimu/20kessan.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/assets/pdf/about/disclosure/zaimu/20kessan.pdf">https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/assets/pdf/about/disclosure/zaimu/20kessan.pdf</a>
財産目録（※事業報告書「Ⅲ」に記載）	<a href="https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/assets/pdf/about/disclosure/zaimu/20houkoku.pdf">https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/assets/pdf/about/disclosure/zaimu/20houkoku.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/assets/pdf/about/disclosure/zaimu/20houkoku.pdf">https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/assets/pdf/about/disclosure/zaimu/20houkoku.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/assets/pdf/about/disclosure/zaimu/20kessan.pdf">https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/assets/pdf/about/disclosure/zaimu/20kessan.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	歯科衛生科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3,334 単位時間/単位	2,419 単位時間	15 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人		72人	0人	5人	114人	119人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）・授業計画（シラバス）を毎年度作成しており、ホームページへの掲載を行い、学生・教職員だけでなく、高校生や保護者・社会人などの第三者も閲覧できるよう整備している。</p> <p>・記載内容は「建学の理念」「教育理念」「教育目標」「年間行事予定表」「カリキュラムマップ」「カリキュラムツリー」のほか、各授業科目については、「授業形態」「配当学年・学期」「必修・選択区分」「単位数」（時間数を単位数で換算しているため）「概要」「学修目標」「学修内容」「評価方法」「備考」（教科書等）「学修の準備」「実務経験」「実務経験を活かした教育内容」の各項目で構成されている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）「定期試験」「レポート」「小テスト」等、あらかじめ科目ごとに設定しシラバスに明示した成績評価の方法・基準に基づき、厳格かつ適正に単位を授与している。</p> <p>なお、成績の評価については、学則において下記の通り定め、『学生便覧』に掲載し、ホームページにて公表している。</p>
<p>（成績）</p> <p>第26条 授業科目の成績の評価は、優・良・可・不可の4種とし、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、優・良・可を合格、不可を不合格とする。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 卒業の認定に関する方針を下記のとおり定め、ホームページにて公表している。</p> <p>本学歯学部附属歯科衛生士専門学校卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科衛生士に必要な知識・技能および科学的な思考力を修得するとともに、これらを統合した実践力を身につけている。</li> <li>2. 高い使命感と倫理観および豊かな人間性を身につけている。</li> <li>3. チーム医療に貢献できるコミュニケーション能力及び実践力を身につけている。</li> <li>4. 口腔保健の専門家として生涯にわたって自己研鑽する向上心や探求心を身につけている。</li> </ol> <p>また、学則において卒業要件を下記のとおり定めている。</p> <p>第 35 条 本校に 3 年以上在学し、当該学年の所定授業日数の 70%以上出席し、第 21 条に定める授業科目を修了し、かつ卒業試験に合格した者については、校長が卒業を認定する。</p> <p>上記の方針及び卒業要件を踏まえ、出席状況・科目修得状況・卒業試験の結果をもとに年度末の教員会において卒業判定を実施し、適切に卒業を認定している。</p> <p>学修支援等</p> <p>(概要) 学年担任制 (1 学年 1 クラスのため) を敷いており、担任による学期ごとの面談等の学修支援を行っている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27 人 (100%)	2 人 (7.4%)	23 人 (85.2%)	2 人 (7.4%)
(主な就職、業界等) 病院、歯科クリニック			
(就職指導内容) 就職ガイダンスによる全体指導及び就職相談室における個別指導の実施			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) 歯科衛生士国家試験受験資格の取得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76 人	3 人	3.9%
(中途退学の主な理由) 病気療養、経済的事情、修学意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 留年者・学力不振者に対する個別面談および保護者を交えた三者面談の実施。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生科	200,000 円	650,000 円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学奨励金：複数の兄弟姉妹及び本学卒業生の子女、卒業生、在籍していたものが入学した場合、入学金を免除。</li> <li>・夢つなぎ入試制度：経済的に支援が必要でかつ成績優秀な入学者に対し、入学検定料と学納金を免除。</li> <li>・北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校入学金減免：AOあるいは推薦入試で入学した者、あるいは本学同窓生または本学の指定する歯科医師会から推薦を受けた者で成績優秀と認められる者に対し、入学金を半額減免。</li> <li>・学校法人東日本学園奨学金：人物・学業ともに優秀な者で、経済的理由により修学困難な者に対し、修学資金を貸与。</li> </ul>				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://eiseishi.hoku-iryo-u.ac.jp/info/">http://eiseishi.hoku-iryo-u.ac.jp/info/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 「卒業生」「歯科医療機関関係者」等の属性を学校関係者委員の要件とし、本校が実施した自己評価の各項目(「教育理念・目的」「学校運営」「教育活動」等、計10項目)についてこれらの委員による評価を行う。また、その結果を学校にフィードバックし、学校長の責任のもと翌年度以降の改善につなげることとしている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大学病院	2020年4月1日～ 2022年3月31日	卒業生
歯科医院	2020年4月1日～ 2022年3月31日	歯科医療機関関係者
歯科医院	2020年4月1日～ 2022年3月31日	歯科医療機関関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://eiseishi.hoku-iryo-u.ac.jp/info/">http://eiseishi.hoku-iryo-u.ac.jp/info/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://eiseishi.hoku-iryo-u.ac.jp/info/">http://eiseishi.hoku-iryo-u.ac.jp/info/</a>
--

(別紙)

学校コード	H101330300018
学校名	北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人東日本学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		—	—	—
内 訳	第Ⅰ区分	—	—	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				—
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数



	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準時間数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	—		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。